

会員のみなさん、こんにちは。春の訪れとともに、やわらかな風や花々の彩りが心を和ませてくれる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日々の療養や体調管理に気を配いながらも、この季節ならではの楽しみを見つけ、心穏やかに過ごしていただければと思います。ちょっとした気分転換や小さな喜びが、健やかな毎日につながるかもしれませんね。今年度のつかさ会総会・春の講演会は、5月10日(土)に岐阜大学医学部記念会館で開催します。別紙案内を同封しますので、ご確認いただき、奮ってご参加ください。また、4月の糖尿病公開教室はお休みにいたします。5月からは毎月開催を予定しておりますので、順次お知らせいたします。

さて今回は、当院 外来看護師の小枝美穂さんに「さかえ」の読みどころを紹介してもらいます。

つかさ会のみなさん、こんにちは。3月号の紹介を担当致します、岐阜大学医学部附属病院 外来看護師の小枝美穂です。私は化学療法室に勤務しております。

さて、今月号の「さかえ」の特集をご紹介します。特集1は「がん治療中の血糖マネジメント(P.5)」、特集2は「高齢期の病気や薬による自動車運転への影響(P.17)」です。特集1では、①がん治療時の薬物療法の考え方、②制吐剤としてステロイド薬が使用される化学療法時の血糖管理、③がん免疫療法により発症する1型糖尿病について、新潟県立がんセンターの谷先生が実際の症例をもとにわかりやすく解説してくださっています。特に、P.6に記載されている化学療法時の血糖管理については、おこりうる症状とその理由、対処方法についてわかりやすく説明がされていますので是非ご覧ください。特集2では、団塊世代の高齢化に伴い、高齢の運転者の増加が顕著になっていることに焦点をあて、加齢と自動車運転、病気による自動車運転への影響、自動車運転に影響を与える薬について説明されています。P.20には、具体的に運転に影響をきたす薬剤も紹介されていますので、一度、ご自分の内服薬を確認してみてはどうでしょうか。その他、特別企画として、「糖尿病治療として再注目される GIP とは？(P.28)」「インスリン注射とインスリンボール(P.33)」といったテーマもとりあげられています。皆さんは、インスリン注射をする部位の皮下の状態を確認したことがあるでしょうか。この機会に、一度注射部位を観察してみてください。P.35には、糖尿病のある人がよくインスリン注射をする部位や、腹部全体を使って少しずつ注射部位を変える「サイトローテーション」について紹介していますので是非ご覧ください。

季節の変わり目を迎え、寒暖差の大きな日もあり、体調を崩しやすい時期になります。暖かな日には、外にでて青い空、心地よい風を感じて体と心のリフレッシュをし、日々お過ごしいただきたいと思います。

※ 今回は会費請求作業の為、『さかえ』のお届けが遅れましたこと、お詫び申し上げます。新年度の会費請求のご案内を同封させていただきます。尚、2025 年度会費の納入不要の方(納入済・免除など)には、請求用紙が入っておりません。
また、総会出欠のはがきの投函についてもよろしくお願いいたします。